

「食の安全・安心」消費者大学を開学しました



11月5日（土）から約1ヶ月をかけて「食の安全・安心」消費者大学を開学しました。本大学は広く一般の方々を対象に、「食」に関する知識や情報の提供を行うとともに、意見交換の場の提供を目的とした受講生参加型の大学です。大学では講義後、グループ（1グループ6名）に分かれ、受講生同士で意見交換を行いました。

県中・南部から「食」に関心の高い36名の消費者が参加し、8講座（延べ6日間）を受講しました。

11月24日（木）の終了式には、本大学学長の尚弘子先生による「沖縄の文化食と養生食」の講話がありました。その後、尚先生、竹林沖縄総合事務局長参加の下、最後の意見交換を行い、会場の熱気冷めやらぬ中、大学は全日程を終了しました。